

この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱い説明書をお読み頂き、正しくお使いください。

製品を末永くご愛用頂き、また事故防止などの安全のために「安全上のご注意」と「取扱い上のご注意」、別添の「使用上のご注意」を必ずお守りください。

取扱い説明書は必ずご使用時にいつでも読むことができるように大切に保管してください。

100co\_up

## 家庭用品品質表示法に基づく表示

外形寸法 幅 960mm x 奥行 240mm x 高さ 560mm  
 デスク・シェルフ天板設置時高さ: 1,300mm

表面材 天然木ゴム集成材

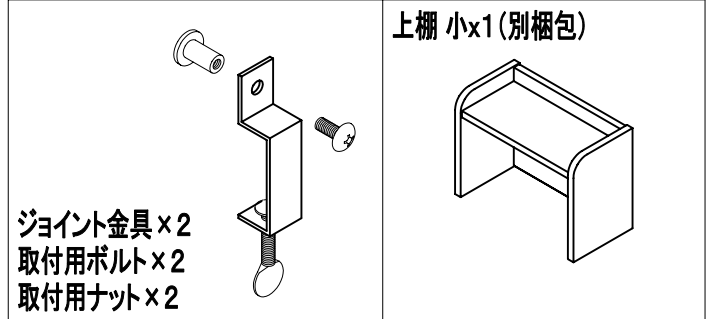
表面加工 ウレタン樹脂塗装

- 取扱い上の注意
- イ. 直射日光または熱を避けてください。
  - ロ. 加熱したなべ、湯沸し等を直接置かないで下さい。
  - ハ. 著しい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用して下さい。

製造元 小島工芸 株式会社  
 03-3674-2251

原産国 日本製

## ● 付属部品



## 安全上のご注意 (必ずお守りください。)

表示内容を無視して誤った使い方をすると、人が重傷を負ったり死亡の可能性が想定されるケガや物的損害の発生が想定され大変危険です。以下のことを必ずお守りください。

デスクやシェルフの天板への設置は**必ず大人2人以上で慎重**に行ってください。転倒したり落下するとケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

上棚は付属のジョイント金具で必ず固定してご使用下さい。転倒したり落下するとケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

デスクやシェルフ天板から上棚を移動する際には、収納されている本や物を一度片付けていただき、**必ず大人2人以上で持ち上げて**移動してください。収納物が落下してケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

デスクやシェルフの天板に上棚をのせたままデスク・シェルフを移動しないでください。上棚が落下してケガをしたり、床や壁、製品を傷付けたり破損したりする恐れがあります。

ジョイント金具のネジやボルトはしっかり締めて固定してください。日頃時々点検をして、ネジやボルトがゆるみはじめたらしっかりと締め直してください。転倒したり落下するとケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

## 取扱い上のご注意(必ずお守りください。)

**警告** 火災などによる人身事故にご注意ください。  
暖房器具の前など高温な場所で使わないでください。  
お客様自身で修理・改造はしないでください。  
上棚の設置は**必ず大人2人以上で慎重**に行ってください。  
(転倒してケガ・製品破損の原因)

**注意** 安全と製品保護のため正しくお取扱いください。  
使用中にボルトにゆるみが生じた場合、ドライバー等でしっかりと締め直してください。  
(転倒・落下の原因)  
デスクやシェルフの天板上への設置及び移動をする際は、天板の上を引きずらないで必ず大人方が持ち上げて行ってください。(天板を傷つける原因)

**お願い** 製品を末永くご使用いただくために、以下のことについてお守りください。  
棚板の上に熱いものをのせないでください。(コゲつき・変色の原因)  
直射日光のあたるところ、湿度の高いところ、湿気の多いところでは使用しないでください。  
(反り・割れ・変色・カビの原因)  
製品にシールやセロハンテープ等を貼り付けないでください。(表面材がはがれる原因)  
シンナー・ベンジン等を吹き付けないでください。  
お手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。汚れのひどいときは、中性洗剤を薄めた液か石けん水に布を浸しよく絞ってから拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。

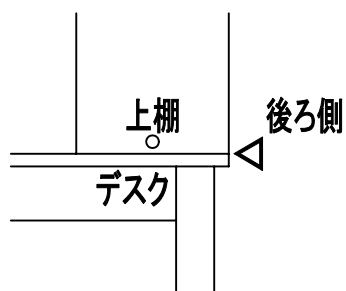
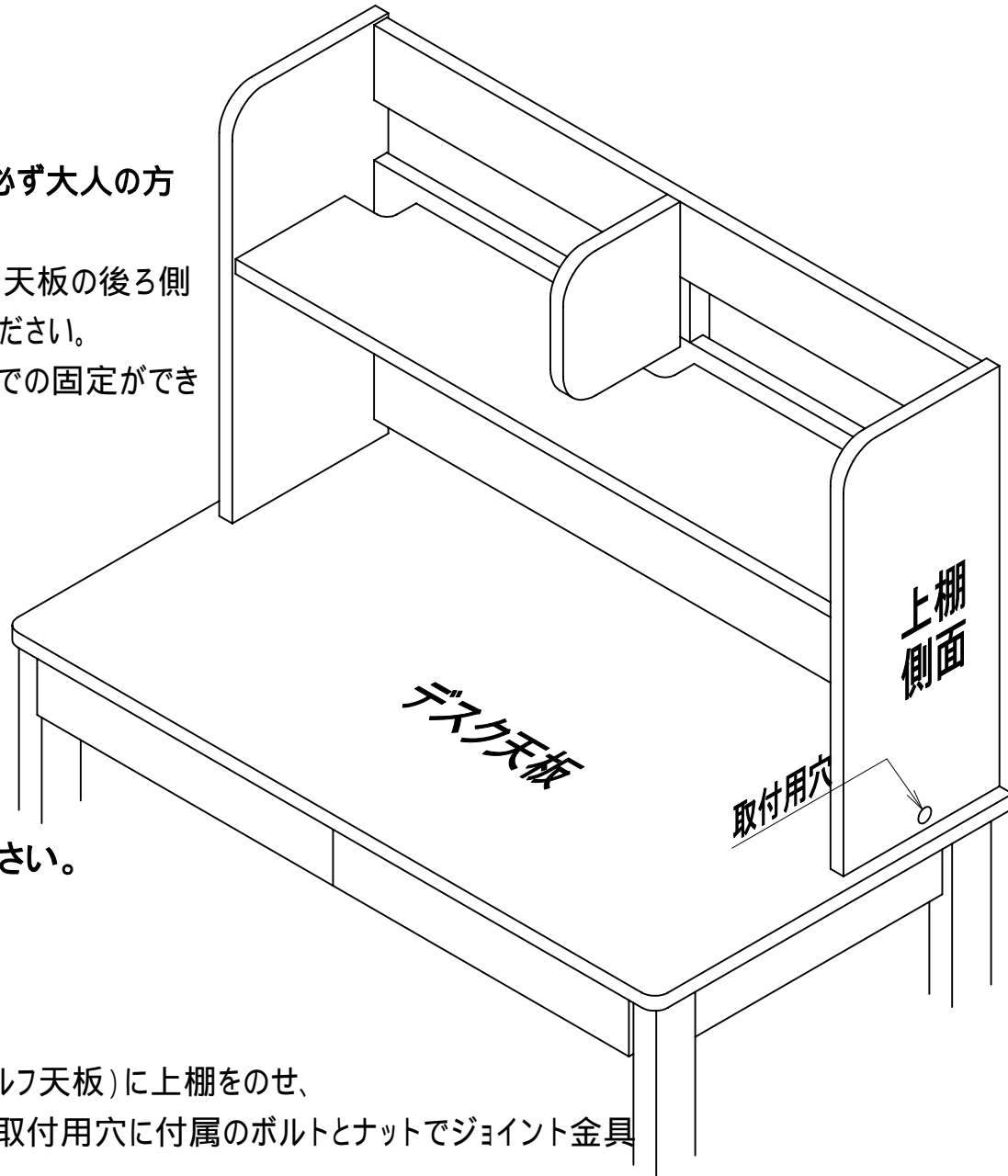
# 取扱い説明書

## 上棚の取り付け方法

上棚を設置する際は、必ず大人の方が慎重に行ってください。

上棚大の後ろ面とデスク天板の後ろ側は必ずぴったりと合せてください。

上棚小をジョイント金具での固定ができなくなります。

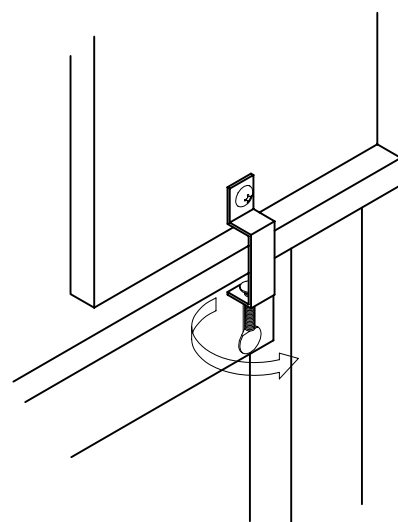
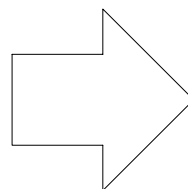
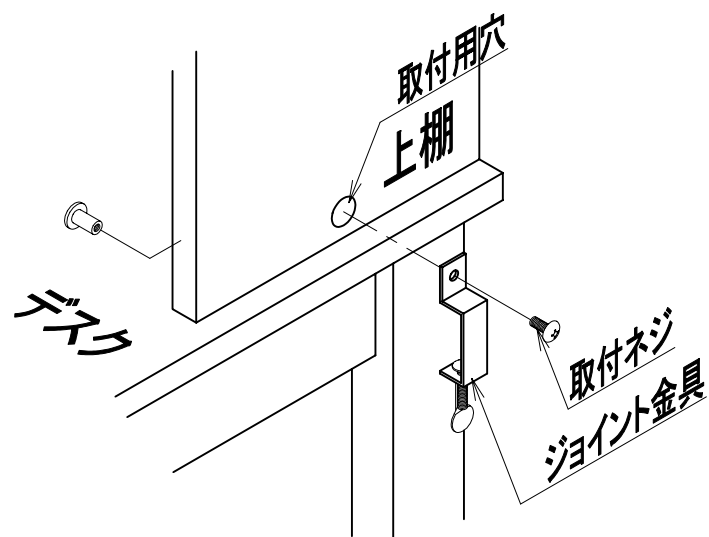


▽印は必ず合せてください。

デスク天板(もしくはシェルフ天板)に上棚をのせ、

上棚の左右側面にある取付用穴に付属のボルトとナットでジョイント金具を固定します。

ジョイント金具に付いているネジで天板に締め付ければ完了です。



※ジョイント金具のネジを締めます。

この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱い説明書をお読み頂き、正しくお使いください。製品を末永くご愛用頂き、また事故防止などの安全のために「安全上のご注意」と「取扱い上のご注意」、別添の「使用上のご注意」を必ずお守りください。

取扱い説明書は必ずご使用時にいつでも読むことができるように大切に保管してください。

## 安全上のご注意(必ずお守りください。)

表示内容を見逃して誤った使い方をすると、人が重傷を負ったり死亡の可能性が想定されるケガや物的損害の発生が想定され大変危険です。以下のことを必ずお守りください。

デスクやシェルフの天板への設置は**必ず大人2人以上で慎重**に行ってください。転倒したり落下するとケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

上棚は付属のジョイント金具で必ず固定してご使用下さい。転倒したり落下するとケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

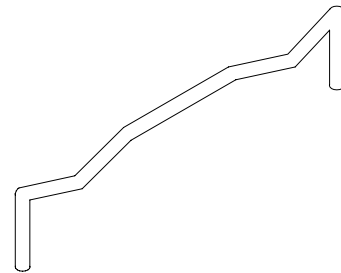
デスクやシェルフ天板から上棚を移動する際には、収納されている本や物を一度片付けていただき、**必ず大人2人以上で持ち上げて移動**してください。収納物が落下してケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

デスクやシェルフの天板に上棚をのせたままデスク・シェルフを移動しないでください。上棚が落下してケガをしたり、床や壁、製品を傷付けたり破損したりする恐れがあります。

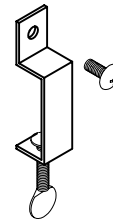
ジョイント金具のネジやボルトはしっかり締めて固定してください。日頃時々点検をして、ネジやボルトがゆるみはじめたらしっかりと締め直してください。転倒したり落下するとケガをしたり、床や壁に傷をつけたり、製品に傷がついたり破損する恐れがあります。

## ● 付属部品

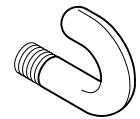
M字金具x2



ジョイント金具x2  
取付用ボルトx2



ポンフックx2



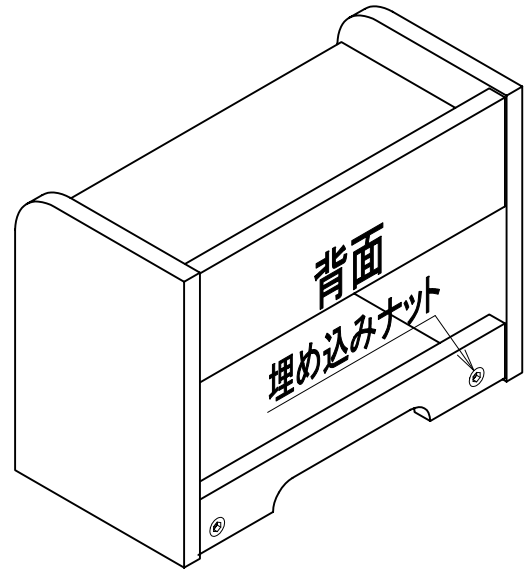
金タボx2

# 取扱い説明書

## 上棚の取り付け方法

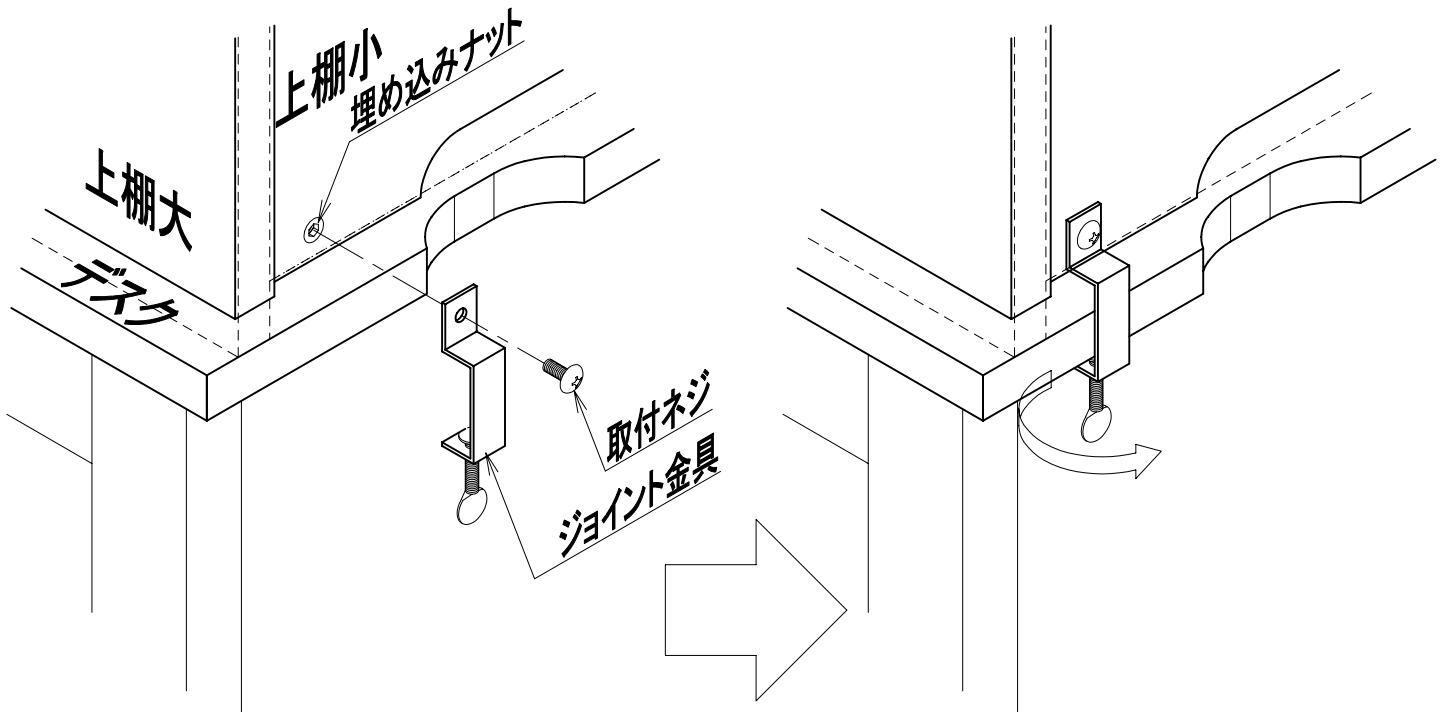
上棚を設置する際は、必ず大人の方が慎重に行ってください。

上棚大を設置した状態でも、内側に設置してジョイント金具で固定する事ができます。



デスク天板 (もしくはシェルフ天板) に上棚をのせ、上棚の背面にある埋め込みナットに付属のネジでジョイント金具を固定します。

ジョイント金具に付いているネジで天板に締め付ければ完了です。



※--- 破線は上棚大です。

※ジョイント金具のネジを締めます。

## 棚板 使用方法

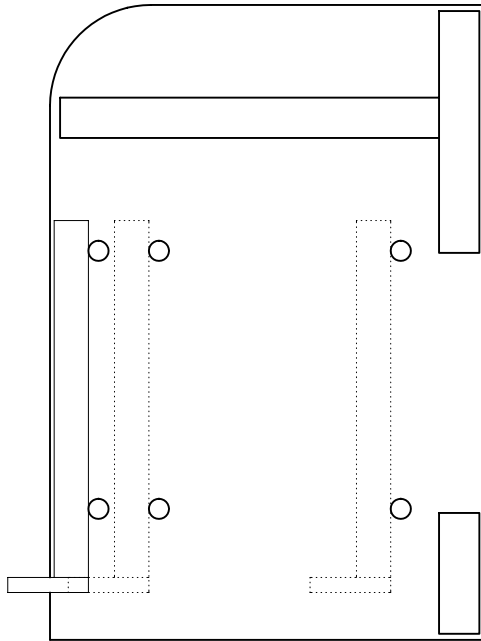
### ～注意～

棚板は必ず設置する本体をデスクやシェルフの天板にジョイント金具で固定して、転倒防止措置を行った上で作業を行ってください。

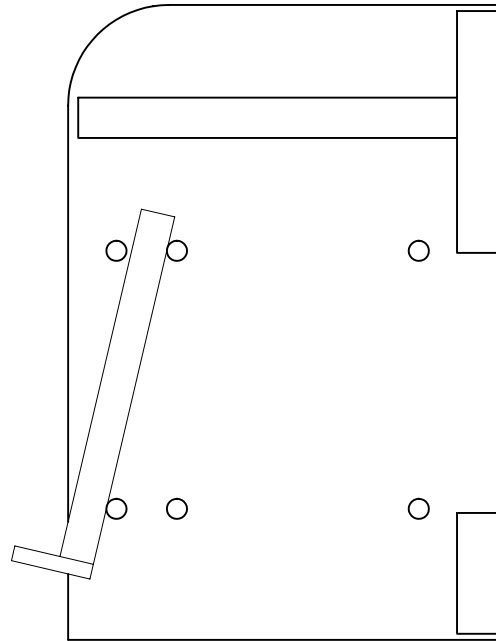
転倒防止措置を行わない状態や連結をしない状態での棚板の設置は大変危険です。お止めください。

棚板の「垂直」「傾斜」での設置できる位置については、下図をご参照ください。

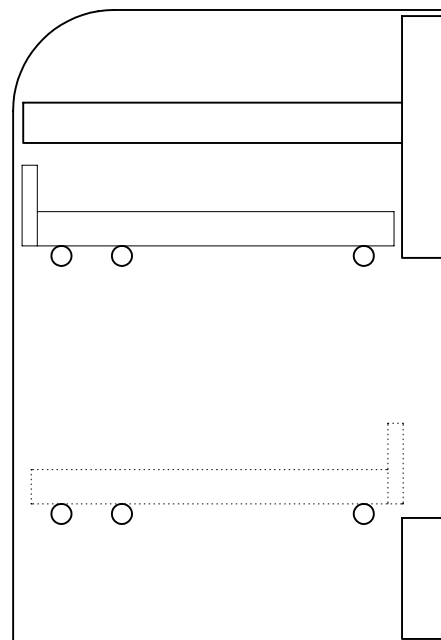
金ダボ取り付け用のネジ穴については下図をご参照の上、説明書をご確認ください。



垂直取付状態



傾斜取付状態



水平取付状態

棚板の裏側にあるスライドラッチを使用することで「垂直」「傾斜」「水平」に取り付ける事ができます。

～注意～

棚板を「垂直」「傾斜」で設置する際は設置する前に**ボンフックを先**に取り付けてください。棚板をセットしてしまうと**ボンフックの取り付けができなくなります。**

ボンフック取り付けのネジ込みは必要以上に行わないでください。棚板や本体にキズをつける恐れがあります。

本棚板を本体に設置する際には必ず棚板裏側のスライドラッチのシャフトを一時的に収納して頂き、設置を行ってください。収納せずに行いますと、本体をキズつけたり、ラッチの破損原因となります。

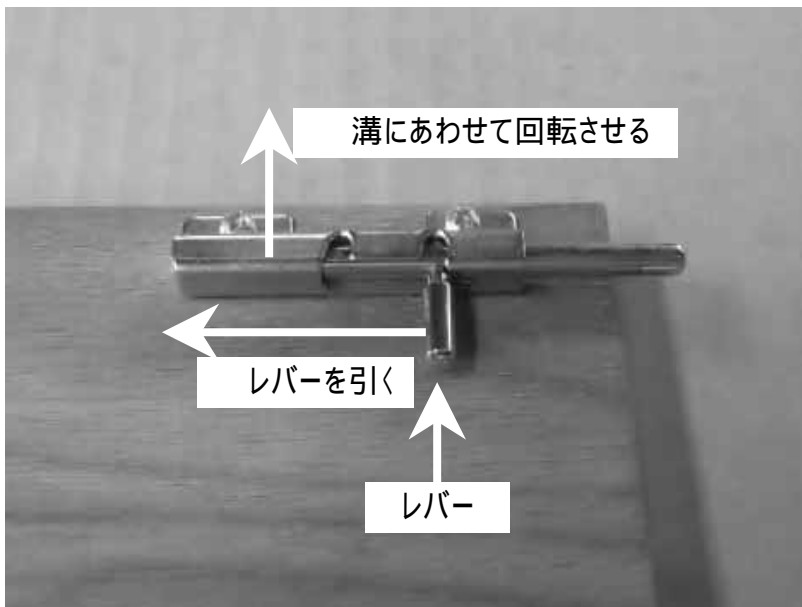
## スライド式ラッチ 使用方法

棚板裏側にあります「スライドラッチ」は梱包されている状態では開放状態となっています。

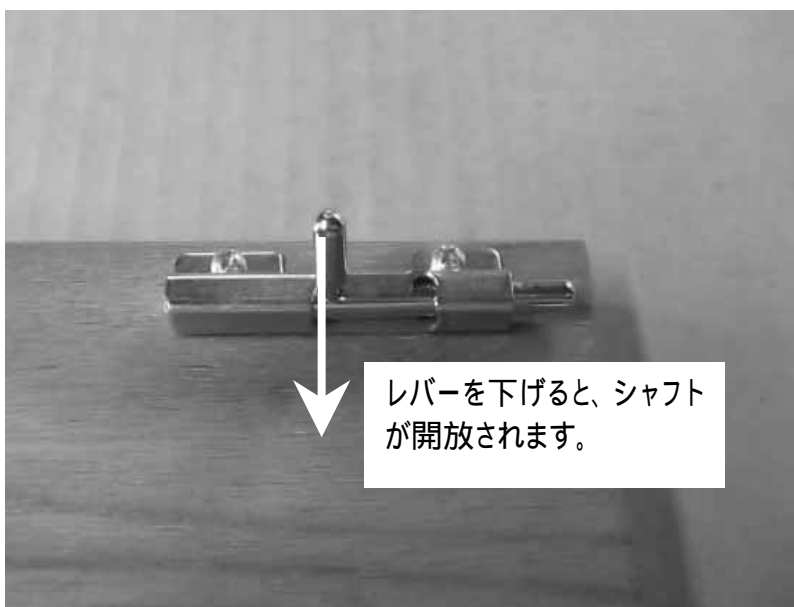
(ラッチに内蔵されているバネの力で常にシャフトが出ている状態になっています。)

棚板取り付け時には必ずシャフトを一時的に収納して、取り付けを行って下さい。収納せずに行いますと本体を傷付けたり、ラッチの破損の原因となります。

収納方法



シャフトを収納した状態



スライドラッチのレバーを金具の溝に沿って棚板の内側に引いてください。

最後まで引いたら溝にあわせてレバーを上げてください。レバーを上げる事でシャフトが回転し、スライドラッチ本体にレバーがかかり、シャフトを収納した状態が継続されます。

レバーを外すことでシャフトが開放されます。

棚板はこの状態で設置してください。

棚板の設置の際はレバーを下げて、シャフトを開放して、金ダボ取り付け用ネジ穴に差し込みます。

## 垂直取付について

本体側板にある金ダボ取り付け用のネジ穴が手前から縦に3列あります。全てに取り付ける事が可能です。

～注意～

棚板を設置する際は設置する前に**ボンフックを先に取り付けてください**。棚板をセットしてしまうと**ボンフックの取り付けができなくなります**。

シャフトの差し込み可能な位置は上段のみとなります。下段での取付はできません。

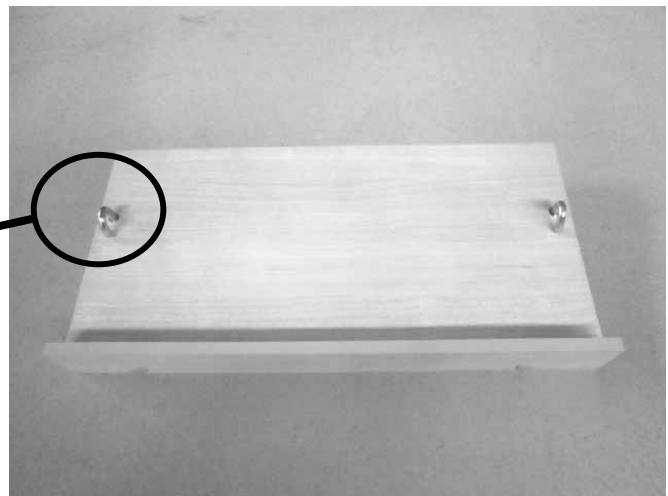
## 取付方法

棚板左右についているネジ穴に付属のボンフックを取り付けてください。



ボンフック(ネジ込んでください。)  
締めすぎにはご注意ください。

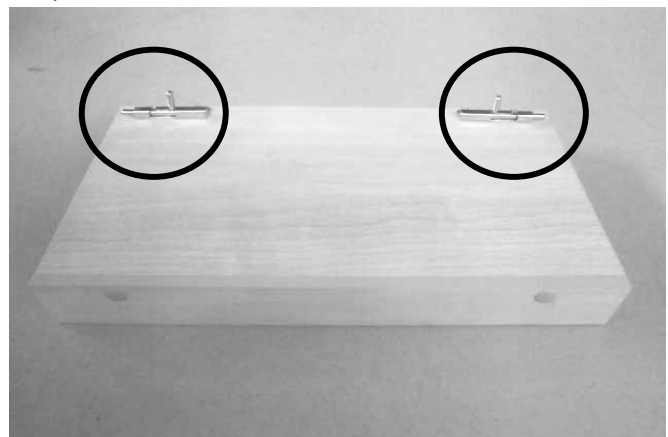
拡大



棚板裏側左右にあるスライドラッチのシャフトを収納します。

( 印内のスライドラッチは収納した状態です。)

収納方法については、2ページ目をご参照ください。



本体側板にある金ダボ取り付け用のネジ穴に棚板裏の左右にあるスライドラッチのシャフトをあわせ、レバーを外してネジ穴に差し込みます。



ネジ穴にシャフトを合わせます。



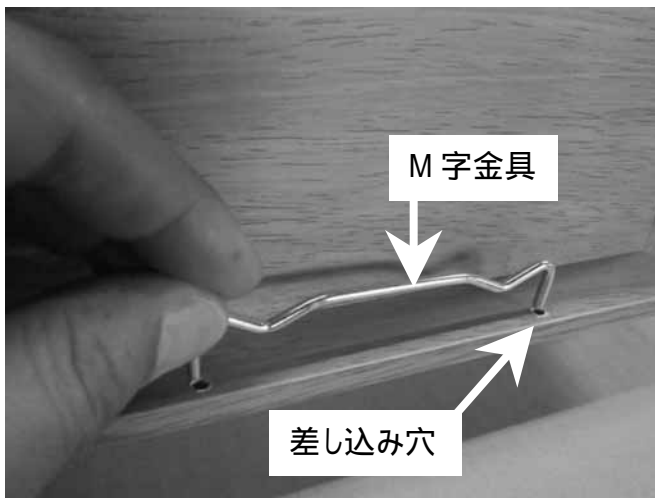
レバーを外してシャフトを差し込みます。



棚板端を持ち上げて、シャフトを差し込んだネジ穴の同じ位置の下段に付属の金ダボを取り付けてください。この金ダボは棚板が後ろに入らないようにする為のものです。必ず取り付けてください。



付属の転落防止用のM字金具を受け板に開いている差し込み穴に差し込んでください。



お気に入りの本や音楽・映像ソフト等を収納してください。  
(ボンフックを利用してラバーバンド等で固定していただくと、転落防止になります。)  
設置完了状態



## 傾斜取付について

本体側板にある金ダボ取り付け用のネジ穴が手前から縦に3列あります。(1ページ目参照)

前から「1列目・2列目」の様に棚板のシャフトを差し込む列の前の列に棚板を受ける為の金ダボを取り付ける事で棚板を斜めに取り付け事が可能です。

### ～注意～

棚板を設置する際は設置する前にボンフックを先に取り付けてください。棚板をセットしてしまうとボンフックの取り付けができなくなります。

傾斜取付では本体よりも棚板がはみ出します。棚板の先端に接触して思わぬケガをしたり、本体や棚板を傷付いたり破損しない様、ご注意ください。

設置した際に棚板が受けられる位置に金ダボの取り付けをしてください。

シャフトの差し込み可能な位置は手前から2列目はの上段のみです。

## 取付方法

垂直取り付けと同様に ボンフックの取り付け、 スライドラッチの収納を行ってください。

本体側板にある手前から2列目の金ダボ取り付け用のネジ穴に棚板裏の左右にあるスライドラッチのシャフトをあわせ、レバーを外してネジ穴に差し込みます。



棚板端を持ち上げて、手前から1列目の下段に付属の金ダボを取り付けてください。

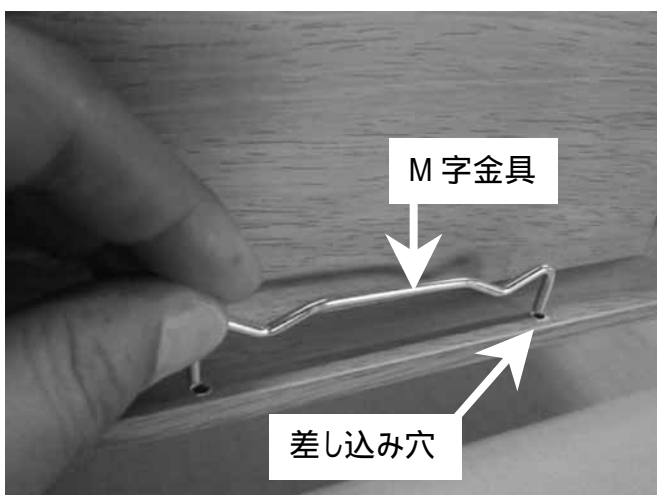
この金ダボは棚板を受ける為の物です。必ず取り付けてください。

### ～ご注意～

棚板が本体よりはみ出します。棚板の先端に接触して思わぬケガをしたり、本体や棚板を傷ついたり破損しない様、十分にご注意ください。



付属の転落防止用のM字金具を受け板に開いている差し込み穴に差し込んでください。



お気に入りの本や音楽・映像ソフト等を収納してください。  
(ボンフックを利用してラバーバンド等で固定していただくと、転落防止になります。)

### 設置完了状態



### 水平取付について

本体側板にある金ダボ取り付け用のネジ穴が手前から縦に3列あります。前から「1列目」もしくは「3列目」に棚板のシャフトを差し込み、「3列目」もしくは「1列目」に棚板を受ける為の金ダボを取り付ける事で棚板として利用することが可能です。

### 取付方法

垂直取り付けと同様にスライドラッチの収納を行ってください。  
(ボンフックは取り付けないでください。)

棚板端を手前にして転落防止にする場合は設置する高さの1列目に、奥にする場合は3列目に金ダボを取り付けてください。

(画像は棚板端を手前にして取り付けを行います。)



棚板を で取り付けした金ダボの上ののせ、棚板を差し込みます。

棚板裏のシャフトを3列目の金ダボのネジ穴にあわせ、シャフトを差し込んでください。



設置完了状態

